

・平成24年9月15日(土)開催分

12 公園施設維持管理事業		票数	提言内容
<b>1 拡充</b>		<b>0</b>	
(1) 対象の拡大		0	
(2) 事業の手法、内容の拡充		0	
(3) 事業費の拡充		0	
(4) その他		0	
<b>2 見直し</b>		<b>6</b>	
(1) 事業の一部廃止		0	
(2) 事業内容、手法の見直し		6	
① 民間委託実施・拡大		2	・維持管理費を抑えるには、場所によって民間委託の導入も。他の施設の充実に充てる。 ・公園は必要なものであり、雇用創出の観点から、ある程度の委託料は必要と思う。
② 指定管理者制度の導入		1	・維持管理費を抑えるには、場所によって指定管理者制度の導入も。他の施設の充実に充てる。
③ 自主財源確保(受益者負担等)		1	・地域、利用者の協力のもと、コストの削減はしていくべきだと思います。
④ 対象の見直し		2	・利用度の少ない公園については、廃止もあるのでは。 ・基本的には、現状維持とならざるを得ないが、中長期的視点から、段階的に廃止も選択肢に含んだ形で市としての公園整備・再配置方針を検討していくべきと考える。その考え方を市民に示し、財政状況も理解いただくことが必要となる。 ・利用状況については、説明できる材料を用意していくことが必要。 ・維持管理コストの長期見直しは、必ず作成が必要と考える。
⑤ 手段の追加、改善		4	・地域へ委託(ただし、受益者負担を考慮)し、残していくとともに不用品公園は廃止。 ・利用度の少ない公園については、他に土地利用する。 ・利用状況を把握し、公園の現状や利用方法をもっと広報する。情報提供の役割を強化する。 →どこが担当するかは要検討。 ・「公≠行政」ではなく、皆のものだという認識を深めていく必要がある。
⑥ 設定目標の見直し		2	・自然公園として、維持管理にあまりお金のかからない方策はないでしょうか。 ・「適正な整備管理」に加えて、「快適な利用」をめざす必要がある(「拡充」という意味の見直しです)。 →他課、他団体との役割分担を検討する。 →担当職員数が現行のままで足りるか検討する。
⑦ 実施期間の短縮		0	
⑧ その他		0	
<b>3 廃止</b>		<b>0</b>	
(1) 手段が目的化している		0	
(2) 達成手段として不適当		0	
(3) 効果なし(薄い)・逆効果		0	
(4) サービス受給者の自助努力・自己負担		0	
(5) 行政の役割終了、民間実施		0	
(6) その他		0	

(その他コメント)

・法律上の制約については、見直し・緩和要望を国・県に意見すべきである。